



谷田橋付近に「横断あり」表示板を
足立 志津子 議員



ライトアップ表示板

問 運転手が歩行者を確認しづらい谷田橋の交通安全対策に、「横断あり」表示板設置を。

答 谷田橋付近には横断歩道がないことから、設置は難しいと考える。

アピアランスケアの対応を

問 がん患者の外見上の変化をカバーするアピアランスケアについて、市独自の事業実施を。

答 事業の必要性を検討したい。

お出かけサポート
タクシーの利便性向上

問 アンケートで住民ニーズを把握すべきでは。
答 利用状況は把握しているため、アンケートは考えていない。

問 利用回数の上限規制の見直しを。

答 9割以上の人が利用回数制限内で利用している。

都市農業の
役割と継続

問 今後の都市農業の担い手育成等の課題と対応策は。

答 農家人口の減少と高齢化が課題となっている。令和6年度中に地域計画を策定するため、4地域で協議中である。市としては、営農継続に必要な補助メニューで支援を継続したい。



児童の交通事故防止

原田 雄一 議員

問 児童のための交通安全対策は。

答 令和3年度に実施した通学路安全総点検に基づき第5期埼玉県通学路整備計画が策定されている。

県及び市は歩道拡幅事業、区画線や路面標示の塗り直し、車止めの設置などを行っている。

254号バイパス
土地区画整理事業

問 緩衝緑地帯内及び提供公園における事業者と市・県との連携は。

答 緩衝緑地帯内を一般開放して、新河岸川から国道254号バイパス方面及び提供公園への歩行者動線の計画がある。具体的には、関係各課及び河川管理者である県を含めた関係機関と連携していく。



254号バイパス周辺が大きく変わる

福岡江川の治水対策

問 雨水対策に対する市の見解は。

答 土地区画整理事業区域内に、7万6485㎡の貯水量を確保している。さらに区域外流入分として2万1500㎡を上乗せした合計約9万8千㎡の調整池の整備が進められている。これにより、浸水被害が大幅に軽減されるものと想定している。



アーバンスポーツの
できる公園を
小林 憲人 議員

問 南台公園や西ノ原中央公園、亀久保中央公園からバスケットコートが撤去された。改めて新設すべきでは。
答 運動公園に2面を整備し、第2運動公園にフリースペースを設置している。市街地への整備は難しい。



市街地にバスケットコートを

子どもの安心安全
を最優先に

問 登校前の集合前に出社しなければならず、子どもにカギを持たせるか、

誰かに預けるかで悩む保護者がいる。対応は。
答 現在のところ問い合わせはないが、ファミリー・サポート・センターの活用が考えられる。

子どもの心の
健康相談の充実を

問 夏休み明けに子どもの自殺が増える傾向にある。相談できる場があることの周知や支援を。

答 関係機関や関係者と連携して支援している。

本人が望む
終末期を

問 終活支援講座や介護サービス計画作成時などに、リビング・ウィルの確認をしては。
答 リビング・ウィルの作成等を支援する取り組みは、これから充実させて行く段階である。また、啓発に取り組んでいく。



上福岡駅東口駅前広場
整備事業
近藤 善則 議員

問 未買収地の用地確保に関して、課題解決に向けての研究成果は。

答 用地取得について、様々な課題があったので、代替地等の検討をする。とともに、地権者の生活環境の変化が契機となることもあるので、地権者と継続的な対話を行ってきた。

東西をつなげる
道路網整備

問 「開かずの踏切」の解消方法としての連続立



踏切の渋滞解消を

体交差事業は道路整備の一環として施行する都市計画事業であるが、東武鉄道株式会社要望し、他の実施主体にも強く働きかけるべきでは。
答 東武東上線改善対策協議会において、志木駅から北側についての連続立体化による踏切除去の要望を毎年行っている。
問 連続立体化についての東武鉄道の見解は。
答 明確な回答は得られていない。

※リビング・ウィル…延命措置や尊厳死に関する希望を文書に残しておく生前の意思表示

好きなことでお客さんを笑顔に

連載企画
事業者へ聞く

ケータリング専門のお弁当屋さんを切り盛りする
女性経営者さんにお話を伺いました。



ますざわ はるみ
増沢 晴美さん

Q お弁当屋さんを始めたきっかけは。
A 料理上手の母の影響で、自分も昔から料理が得意でたくさんの料理を作ることが好きでした。ただ5年ほど前に夫が亡くなり、子どもたちも大人になって手が離れてきて、キッチンを活用する機会が減っている状況をさみしく思っていました。そこで3年半位前に「よし、お弁当屋さんやっちゃおう!」と思い切って始めることにしました。

Q 開業された当時はコロナ禍で大変だったのでは。

A ここは人通りの多い場所ではないので、最初からケータリングだけのお弁当屋さんというスタイルで営業していました。注

文はSNSで受け付けて、配達の際も対面しないでいいように玄関先に置き配で届けたりしていました。が、コロナ禍で外出を避けたいというお客さんにも喜んでもらえていたと思います。

Q お弁当へのこだわりは。

A まず彩りです。そしてメインは全て手作りするようにしています。また、作るのは1人でやっています。大変なことも多いですが、他の人をお願いしてしまうと同じ味にできないですからね。

Q 経営していく上での苦労はありますか。

A やはり今は食材費や容器代、光熱費の高騰が大変です。このままでは赤字になってしまうので、実は最近少し値上げをさせてもらったんです。でもコストが増えたからといってその全部を価格に転嫁はできないですね。

Q 行政に望むことは。

A 消費活性化クーポンやプレミアム付き商品券などで、もっと応援してほしいと思います。

